

年間授業計画様式

日野高等学校 令和5年度 教科[数学] 科目[数学Ⅲ] 年間授業計画

教科：数学 科目：数学Ⅲ 単位数： 6 単位
対象学年組： 第3 学年（1組・2組）
教科担当者： 来海
使用教科書：（数研出版 改訂版 高等学校 数学Ⅲ）
使用教材：（改訂版 教科書傍用 数研出版 4 プロセス 数学Ⅲ）

	指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月				
	第2 章 式と曲線 第1 節 2 次曲線（放物線 楕円 双曲線）	曲線を図形的な性質から定義して方程式を求めたり、概形がかける。	・ 定期考査の得点・授業態度 ・ 課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第2 章 式と曲線 第1 節 2 次曲線（平行移動 2 次曲線と直線 2 次曲線の性質）	曲線を平行移動後の方程式を求める。また、曲線と直線の共有点の座標を連立方程式の解として捉えることができる。	・ 定期考査の得点・授業態度 ・ 課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第2 章 式と曲線 第2 節 媒介変数表示と極座標（曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式）	曲線の方程式 $F(x, y) = 0$ を媒介変数を用いて媒介変数表示できる。直交座標と極座標の関係を理解し、極方程式で表せる。	・ 定期考査の得点・授業態度 ・ 課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月					
		第3章 関数 分数関数 無理関数 逆関数と合成関数	分数関数、無理関数の基本を理解し、直線との共有点の座標を求めたり、グラフを利用して不等式が解ける。逆関数を求められ、もとの関数との関係を理解する。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
		中間考査			2
		第4章 極限 第1節 数列の極限（数列の極限 無限等比数列）	数列の収束・発散について理解し、極限を求める。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6

	指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	第4章 極限 第1節 数列の極限（無限級数）	無限級数の収束・発散について理解する。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第4章 極限 第2節 関数の極限（関数の極限(1)(2)）	関数の極限を求める。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第4章 極限 第2節 関数の極限（三角関数と極限 関数の連続性）	三角関数の極限を求める。また、関数の連続性を理解し、中間値の定理や平均値の定理、関数の増減などの理解を深めさせる。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第5章 微分法 第1節 導関数（微分係数と導関数 導関数の計算）	微分係数と導関数の定義を理解し、積や商の導関数、合成関数や逆関数の導関数を求める。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月		期末考査			2
		第5章 微分法 第2節 いろいろな関数の導関数（いろいろな関数の導関数 第n次導関数 曲線の方程式と導関数）	三角関数や対数関数、指数関数の導関数を求める。また、曲線の方程式や媒介変数表示から dy/dx を求める。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用（接線の方程式 平均値の定理）	接線の方程式を求める。また、平均値の定理を理解し、不等式を証明できる。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用（関数の値の変化 関数のグラフ）	関数の増減表を作成し、極値や変曲点を求め、グラフの概形をかける。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第6章 微分法の応用 第2節 いろいろな応用（方程式、不等式への応用 速度と加速度 近似式）	関数の増減を調べ、不等式の証明や方程式の実数解の個数を求める。また、微分と速度・加速度の関係を理解する。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分（不定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 いろいろな関数の不定積分）	置換積分法や部分積分法を理解し、いろいろな関数の不定積分を求める。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	第7章 積分法とその応用 第2節 定積分（定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法）	いろいろな関数の定積分を求める。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第7章 積分法とその応用 第2節 定積分（定積分のいろいろな問題）	いろいろな問題から定積分を考え、理解を深める。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	中間考査			2
	第7章 積分法とその応用 第3節 積分法の応用（面積）	定積分を利用し、面積を求める。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6

	指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	第7章 積分法とその応用 第3節 積分法の応用（体積）	定積分を利用し、体積を求める。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第7章 積分法とその応用 第3節 積分法の応用（道のり 曲線の長さ）	定積分を利用し、道のり・曲線の長さを求める。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第1章 複素数平面 複素数平面	複素数平面を考えることにより、複素数の図形的側面が明らかになることを理解する。また、共役複素数の性質を理解する。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	第1章 複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理	複素数を極形式で表し、複素数の積や商の意味について図表示を通して理解を深める。また、ド・モアブルの定理を導き、簡単な二項方程式が解けるようにする。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	第1章 複素数平面 複素数と図形	複素数の偏角や絶対値を考察することにより、2つの半直線のなす角が求められるようにする。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6
	期末考査			2
	受験対策	入試の基本レベルに相当する問題演習を行い、入試問題に慣れる。	・定期考査の得点・授業態度 ・課題等の提出状況・基本事項を活用、応用できるかなどを総合的に考える。	6

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月				
	個別指導	個別指導		6
	個別指導	個別指導		6
	個別指導	個別指導		6

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	個別指導	個別指導		6
	個別指導	個別指導		6
	個別指導	個別指導		6
	個別指導	個別指導		6

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				